

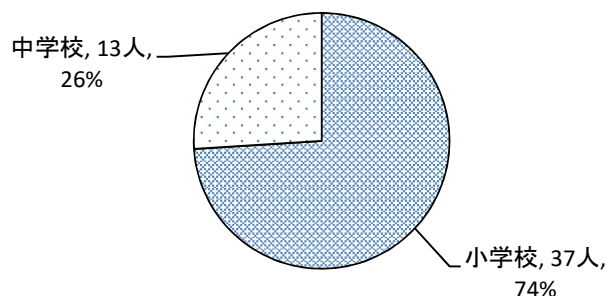
令和5年度実施 就学相談利用者アンケートの結果

令和5年10月
立川市教育委員会事務局
教育部 教育支援課

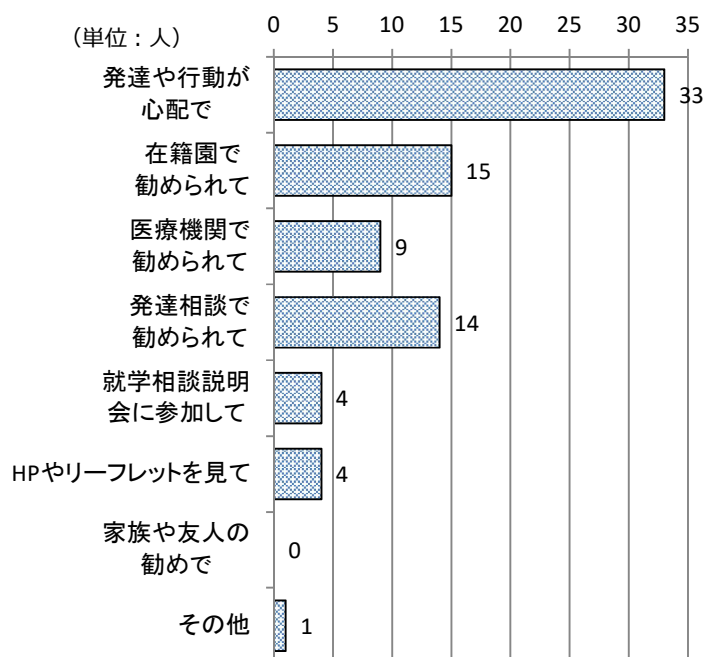
<調査概要>

- 対象世帯：102世帯
令和4年度に就学相談を利用した保護者145世帯中、途中で相談を中止した方や、相談終了後に市外に転出した方など、計43世帯を除く。
- 実施時期：令和5年6月
- 実施方法：郵送
- 有効回答：50（回答率49%）

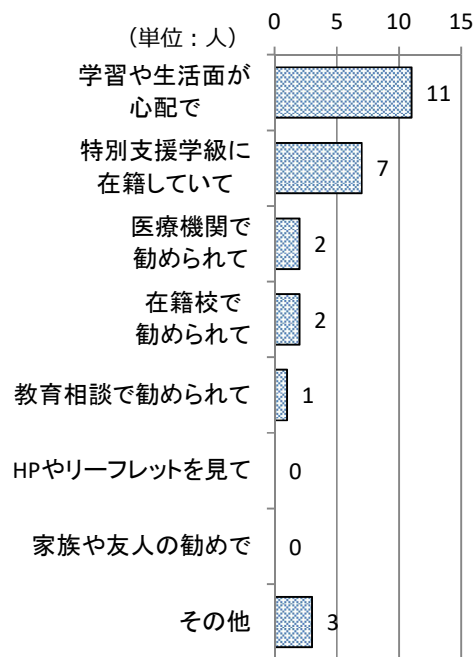
Q1. お子さんの就学先は？



Q2. 【年長児】申込みのきっかけ（複数回答）



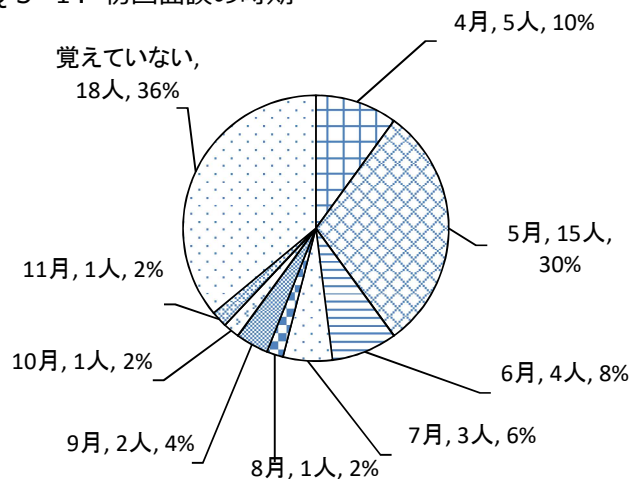
Q2. 【小6】申込みのきっかけ（複数回答）



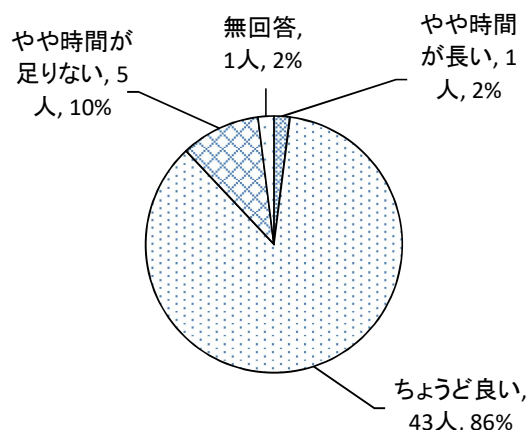
○就学相談の申込みのきっかけ

- ・学校への就学(年長児)では、「発達や行動などで心配があって」を理由に挙げた方が9割弱となっています。在籍園や子ども家庭支援センターの発達相談、医療機関でのお勧めも就学相談につながっています。
- ・中学校への就学(小学6年生)では「学習や生活面での心配で」との回答や、「特別支援学級に在籍して」との回答が大半を占めています。

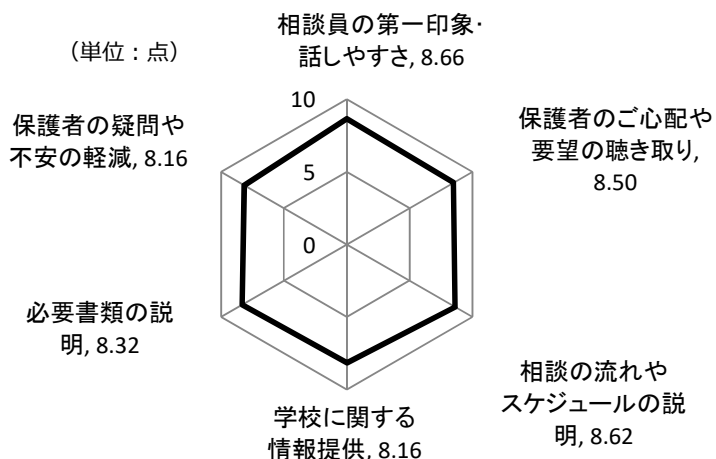
Q3-1. 初回面談の時期



Q3-2. 初回面談の時間



Q 3-3. 初回面談の満足度

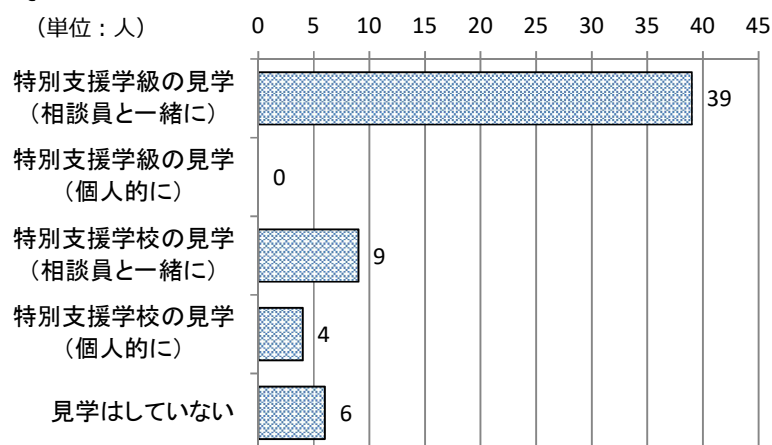


○初回面談について

・初回面談時の満足度を10点満点で評価していただいたところ、相談員の話しやすさやご説明、保護者からの聞き取りなど総じて比較的高い評価をいただいております。

・一方で、初回面談は、お子さんの基本情報の聞き取りに大部分の時間を費やしてしまうため、保護者の疑問や不安の軽減や学校に関する情報提供が十分にはできていないと言えます。

Q 4-1. 特別支援学級等の見学（複数回答）



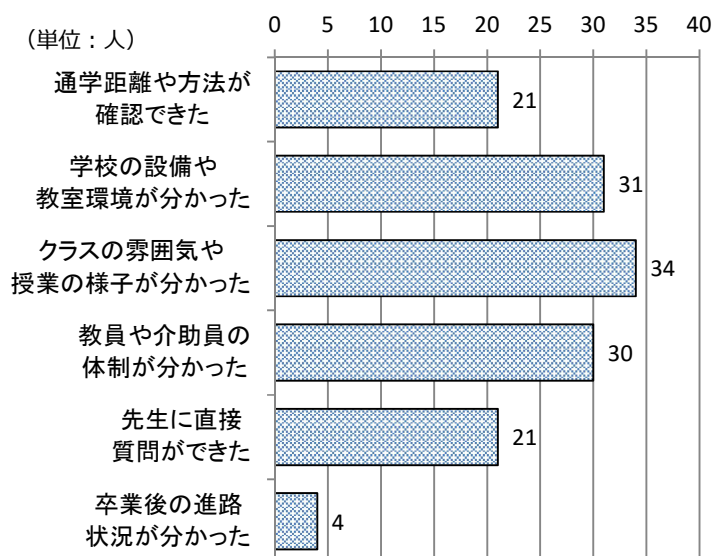
○特別支援学級等の「見学」について

・約8割以上の方が、特別支援学級を見学しています。

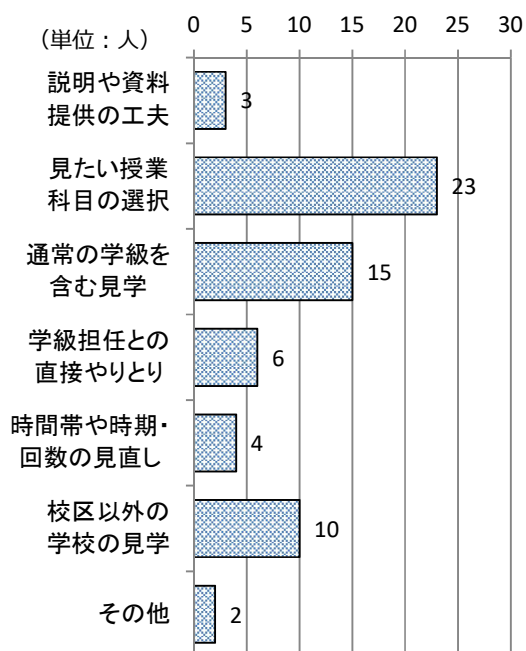
・見学を通して、クラスの雰囲気や授業の様子、教室環境などがわかったとの感想も寄せられています。

・改善や工夫を希望する点としては、見たい授業科目の選択や通常の学級を含む見学をしたいとの声があります。

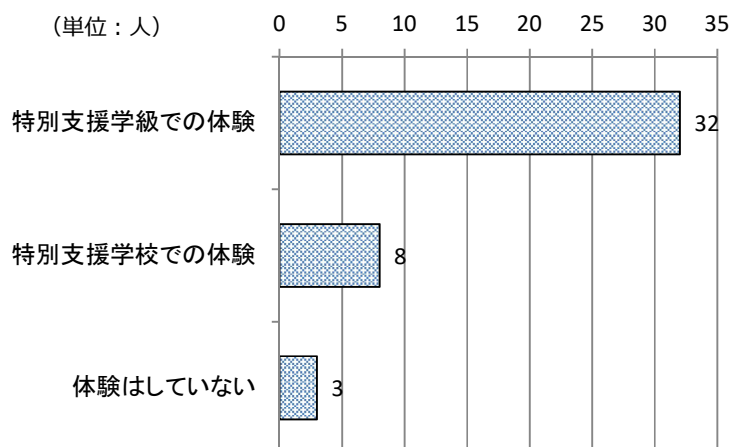
Q 4-2. 【見学した方】良かった点（複数回答）



Q 4-3. 【見学した方】改善希望点（複数回答）



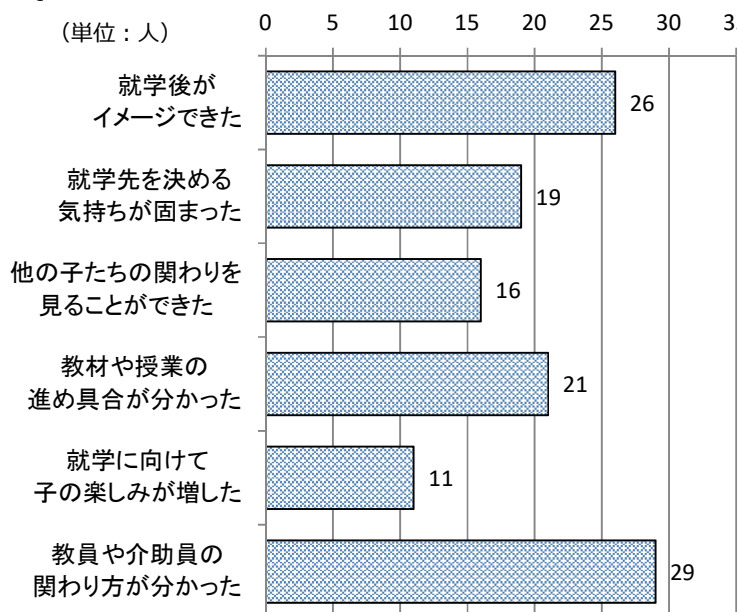
Q 5-1. 特別支援学級等の体験（複数回答）



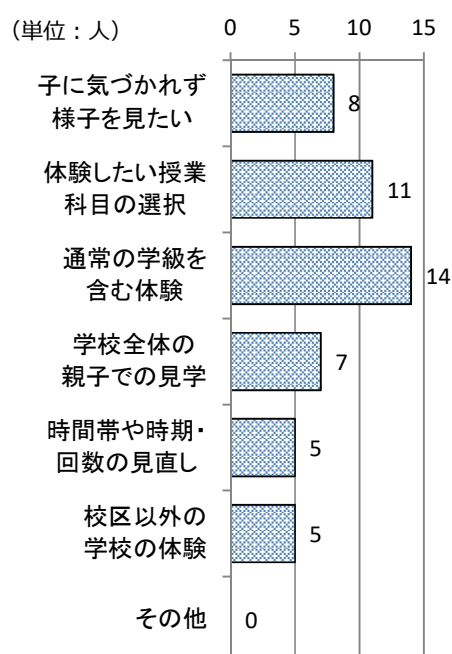
○特別支援学級等の「体験」について

- ・特別支援学級を見学した方が多くが体験も行っています。
- ・体験をしてよかった点として多く挙げられている項目からは、教員等や子供たちの関わり、授業の進め具合などを実感することで、就学後をイメージする効果があったことがわかります。
- ・一方で、体験したい授業科目の選択や、通常の学級を含む体験がしたいとの声もあります。

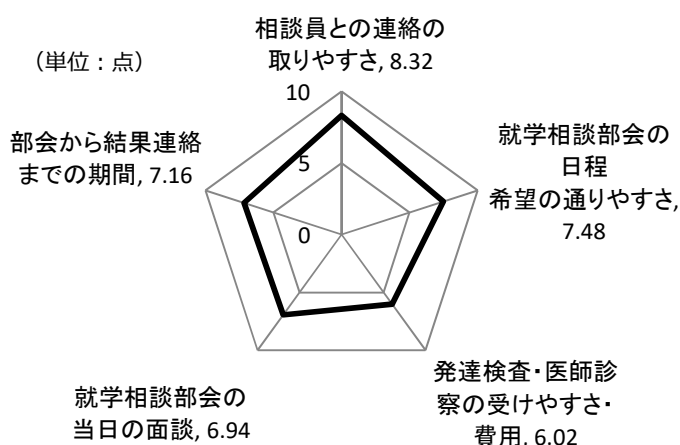
Q 5-2. 【体験した方】良かった点（複数回答）



Q 5-3. 【体験した方】改善希望点（複数回答）



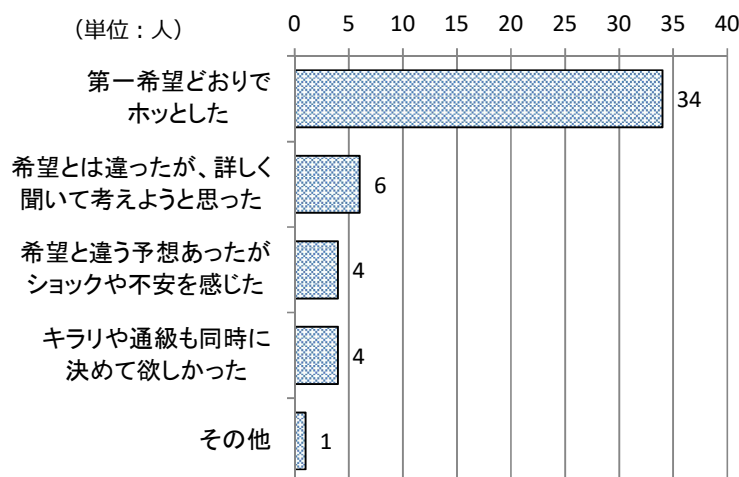
Q 6. 就学相談のプロセスごとの満足度



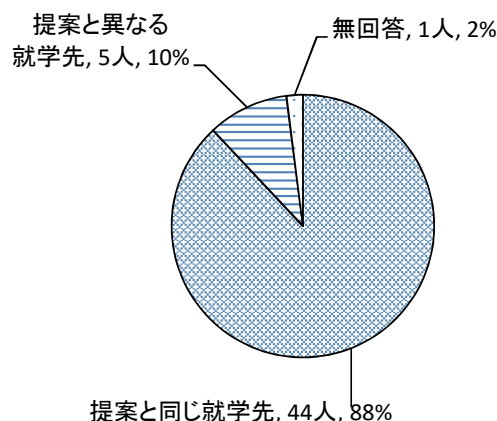
○相談のプロセスごとの満足度について

- ・プロセスごとの満足度を10点満点で評価していただいたところ、比較的ポイントが高かったのは「相談員との連絡の取りやすさ」でした。
- ・一方で最もポイントが低かったのは「発達検査や医師診察の受けやすさ・費用面」でした。医療機関の予約の取りにくさ、診断書等の費用の負担感、子ども未来センターで受けていただく際の日程の制約などが、ポイントの低さにつながっているものと思われます。
- ・この傾向はこれまで実施したアンケートと同様となっています。

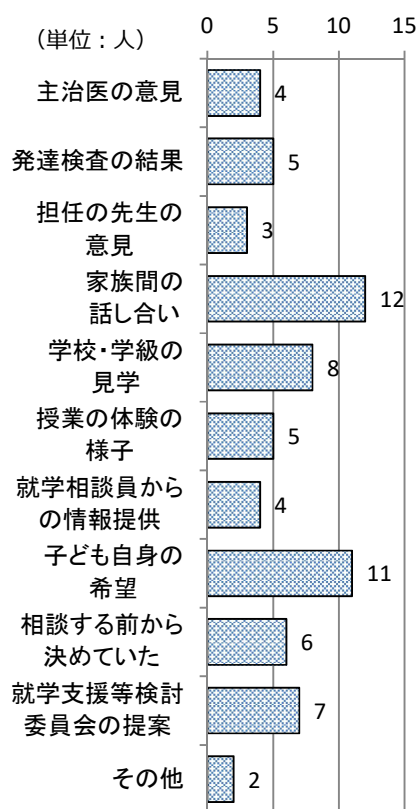
Q 7-1. 提案を聞いたときの気持ち



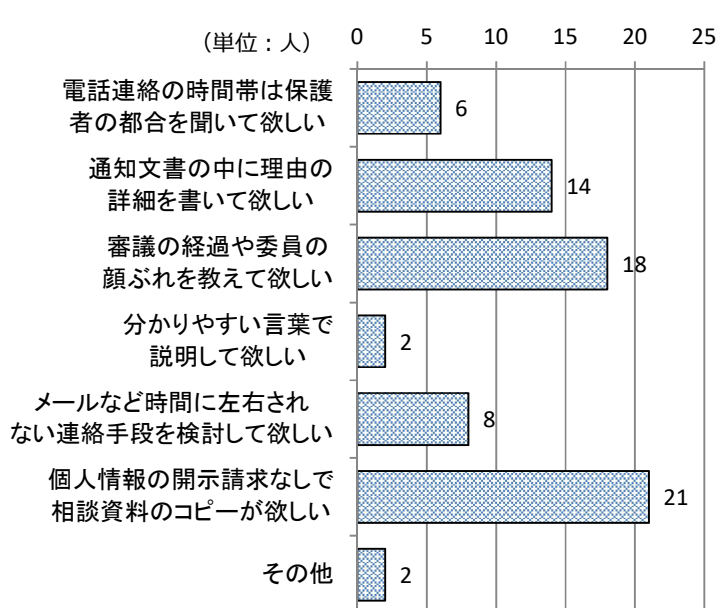
Q 7-2. 最終的な就学先



Q 7-3. 就学先決定の最も大きな決め手



Q 7-4. 提案時の改善希望点（複数回答）

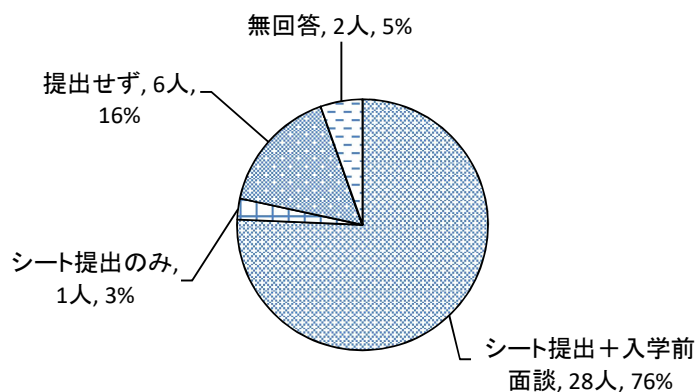


※択一式でしたが、複数回答された方がいるため合計が回答数より多くなっています。

○就学支援等検討委員会からの提案について

- ・就学支援等検討委員会の判断（就学先の提案）を聞いた時の保護者のお気持ちとして、約7割の方が「希望通りでホッとした」と回答されています。ショックや不安を感じたとの回答も1割程度ありました。
- ・最終的な就学先として、約9割の児童・生徒が「就学支援等検討委員会からの提案と同じ就学先」を選択し、1割の児童は「提案と異なる就学先」を選択しています。
- ・就学先の決定にあたっては、家族間の話し合いや、学校・学級の見学、子ども自身の希望などが決め手になったとの回答が多くなっています。
- ・提案時の改善希望点として、多くの方が「個人情報の開示請求なしで相談資料のコピーが欲しい」、「審議の経過や委員の顔ぶれを教えてほしい」、「通知文書の中に理由の詳細を書いてほしい」といった相談・審議経過や判断結果に関する情報提供の充実について、ご意見をいただいております。

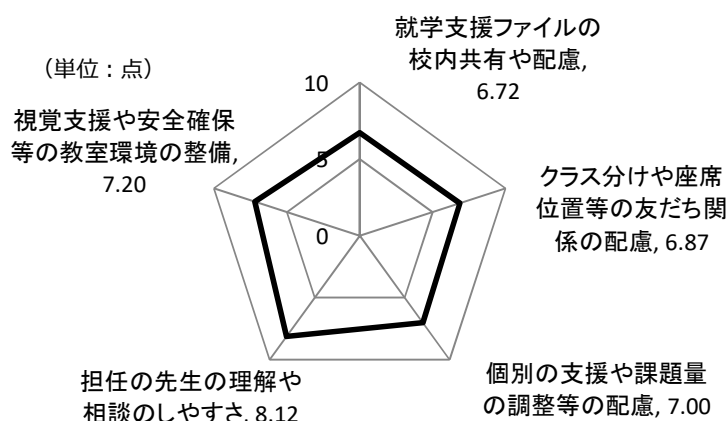
Q 8. 就学支援シート（年長児のみ）



○就学支援シートについて

・今回のアンケートに回答した年長児の約8割の方が就学支援シートを利用しており、その大半が入学前の学校面談も受けています。入学後に提出したという方もいらっしゃいました。

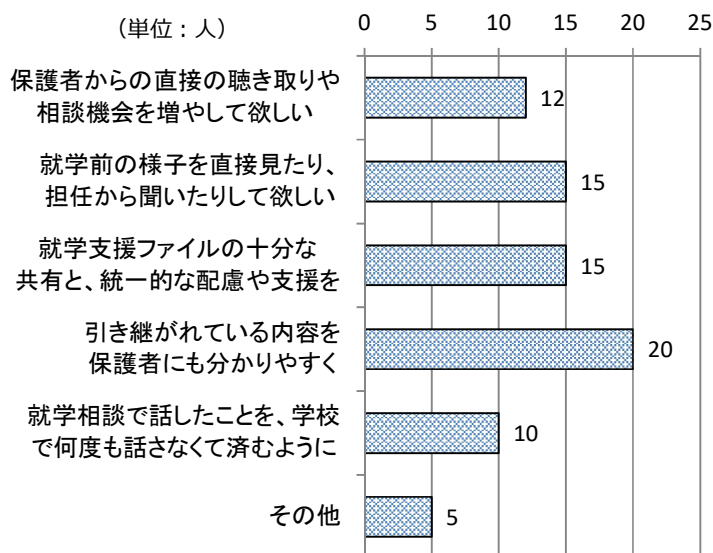
Q9. 就学後の学校生活の満足度



○就学後の学校生活の満足度

・学校生活での支援や配慮に関する満足度を10点満点で評価していただいたところ、「担任の先生の理解や相談のしやすさ」が最も高いポイントとなっておりますが、一方、就学支援ファイルの校内共有や配慮については、やや低いポイントとなっております。

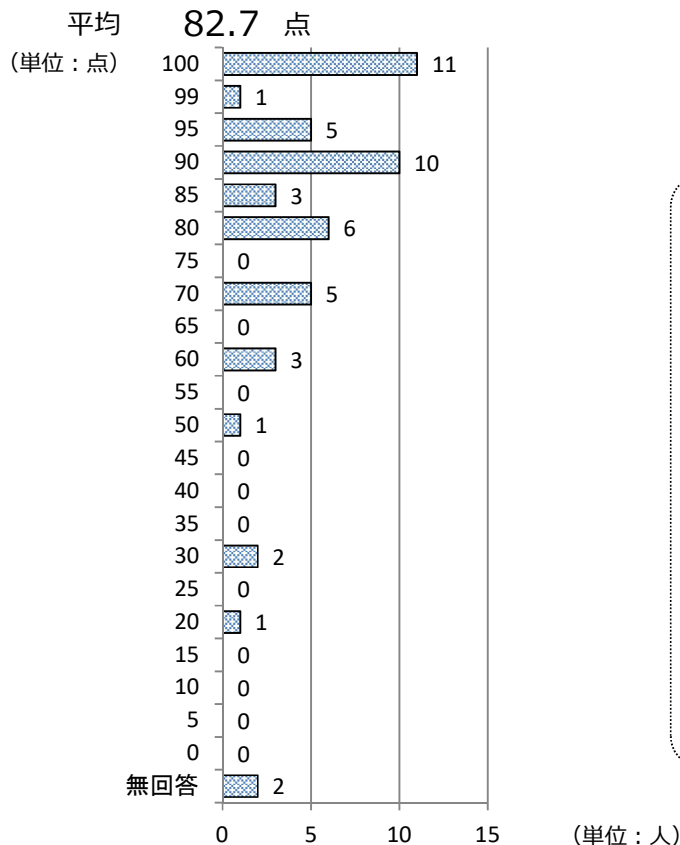
Q10. 学校への引継ぎの改善希望点（複数回答）



○就学先の学校への引継ぎに関する改善希望点

・多くの保護者が「学校に引き継がれている内容を保護者にも分かりやすく伝えて欲しい」を選択しています。また、「就学支援ファイルの十分な共有と、統一的な配慮や支援を」や「就学前の様子を直接見たり、担任から聞いたりしてほしい」など、児童の状況をより理解することや、校内での情報や認識の共有を求める声が多くあります。

Q11. 就学相談を100点満点で言うと？



○就学相談全体の満足度

- ・就学相談全般を通しての満足度を100点満点で評価していただき、無回答の方を除いた全回答者48人の平均点は82.7点でした。
- ・50点以下の方が4人いらしたことは、ご期待に沿えなかった結果として、真摯に受け止め今後の課題として行きたいと考えております。
- ・75%の方が80点以上の点数を付けてくださったこと、100点満点を11人の方がご回答いただいたことを糧に今後の対応を進めていきたいと思っております。
- ・引き続き、相談の質の向上に向けて取り組んでまいります。

●自由意見を含めた総括

(1) 特別支援学級等の見学や体験のあり方

見学や体験は、学級の授業中に行うため、在籍している児童・生徒への負担が大きくならないよう時間帯や参加する教科を調整する必要があり、保護者のご希望通りに実施できない場合があります。また、体験を複数回を望む方や実際に情緒固定学級で学んでいる児童の様子を見学したいとご意見をいただいておりますが、限られた時間の中、複数回の機会を提供することや学級の特性により、原則対応できない現状があります。これらの状況について保護者にご理解いただくとともに、引き続き、学校公開日等の情報提供を早めに行うことや、通常の学級の見学ができるよう調整するなどして、保護者や児童が学校・学級の様子を把握できるように進めてきます。

(2) 就学先の提案方法や情報提供のあり方

就学相談の過程で収集される児童に関する資料は、本市の個人情報開示制度において「開示できない場合がある」とされております。就学支援等検討委員会の判断結果を保護者にご提案する際の説明は口頭で行い、資料も閲覧にとどめ、資料をお手元に残されたい場合は市の個人情報開示請求の手続きを経てください。この状況を踏まえ、資料の開示（入手）については、ご要望により、請求手続き事務を教育支援課が実施する仕組みに整え、手続きを一部簡略化を進めさせていただきました。判断に至る審議の経過が分かりにくいなどご指摘いただいておりますので、一層丁寧な説明に努めてまいります。今後も丁寧な説明に努めてまいります。

(3) 就学先との情報共有と適切な指導・支援へのつなぎ、理解啓発の促進

「就学支援ファイルなどで就学相談で伝えた児童の情報が就学先の学校にきちんと引き継がれ、指導に生かされているか」について疑問視するご意見をこれまでも多くいただいております。また、児童・生徒、保護者、教職員の、障害や特別支援教育に対する理解の度合いに不安を感じている方もいらっしゃいます。就学相談は、就学先の決定のためのみならず、就学後の指導・支援をスムーズにスタートし、円滑に継続していくために行うものでもあります。就学相談の過程で得た情報の就学先との共有、校内での指導への活用を一層進めるとともに、児童・生徒や保護者への理解啓発、教職員への研修等も進めていきます。

(4) 相談過程での日程調整や連絡方法

相談や見学・体験、就学支援部会等の日程調整については、短い期間で日程調整をお願いすることでご不便をおかけしていることは認識しておりますが、就学相談は限られた期間・日程で様々な段階を踏んでいただく必要があることから、余裕を持った調整等が難しい状況にあります。なお、これまで連絡調整については、電話のほかメールでの対応もできるようにしてきましたが、今後も改善を図って行きたいと考えております。